

記入例

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会 御中

同一漁場で操業する同漁業種漁船一覧表

漁 協 名 : 神田錦町漁業協同組合

事業実施者名 : 漁安協 太郎

競争力強化型機器等導入緊急対策事業に申請した 漁安協 太郎 が機関の導入を予定している漁船と同一漁場で操業する同漁業種の漁船の総トン数、機関型式、連続出力は以下の通りです。

申請者の漁船の漁業種類、総トン数と導入予定機関

船名	漁業種類	総トン数	機関型式	連続出力 (kW)
漁安丸	○×△	4.9	DEF-456	135

同一漁場で操業する同漁業種の漁船の総トン数と搭載機関（※対象船が3隻未満の場合は、必ず備考欄に理由を記載してください）

船名	漁業種類	総トン数	機関型式	連続出力 (kW)
〇〇丸	○×△	4.0	〇〇〇-〇〇〇	125
△△丸	○×△	4.9	〇〇〇-〇〇〇	135
□□丸	○×△	4.9	〇〇〇-〇〇〇	140
▲▲丸	○×△	5.2	〇〇〇-〇〇〇	145

同トン数以下、同出力以上の対象船が3隻無い場合は、その他に近い同トン数以下、同出力以上の情漁船があれば記載

同漁業種他組合員保有エンジンの連続出力3隻以上の対象船を記載してください。
対象船の船名も記載してください

備考欄
※3隻以上の未突出を証明する対象船が無い場合は、理由を記載

漁業者、対象船が少なく、3隻以上の記載ができない場合は、備考欄にその理由を記載してください。または漁安協にご連絡ください

- (注) 1 同一漁場で操業する同漁業種の漁船の事例は、申請者の漁船より同等総トン数程度以下のものを選ぶこと
例) 申請者の漁船の総トン数 4.9トン → 対象漁船の総トン数 4.9トン程度以下のもの
- 2 同一漁場で操業する同漁業種の漁船の事例は、原則として3隻以上選ぶこと
- 3 同一漁場で操業する同漁業種の漁船の事例の船名を明記
- 4 同一漁場で操業する同漁業種の漁船で同トン数以下の対象となる船が近隣漁協と併せても3隻に満たない場合は、その旨を備考欄に記載すること